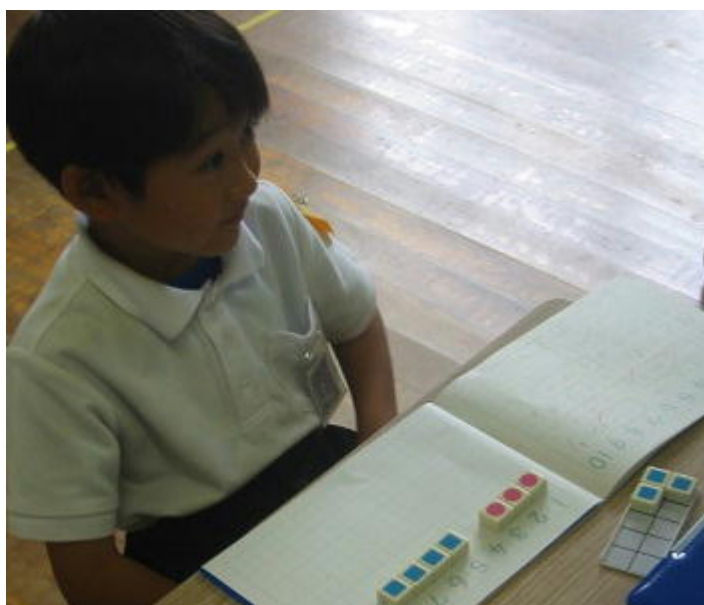


| 活 用 事 例 | 下関市立（豊北）神田小学校 | 岩崎利充校長、坪井真起教諭 |
|---|---|---------------|
| 活用事例タイトル | のこりは いくつでしょう | |
| 対象授業科目活動 | 1ねん さんすう | |
| 授業または活動の概要（目的、実施時期、授業の場合教科名や単元名、対象学年、参加人数、ICTの使用局面など） | <ul style="list-style-type: none"> ・単元名 ひき算（1） ・ねらい 数図ブロックを用いた活動を通して、求部分の場面をひき算の式にかいて答えを求めることができる。 ・実施時期 平成25年6月27日（木） ・参加人数 1年児童2名 ・ICTの使用局面 自作デジタル教科書（dbookPROで作成）でさし絵を拡大し、どんな場面かを話し合わせるために活用。ICT機器で完結するのではなく、児童は数図ブロックで操作し「のこりはいくつか」を考えた。また、教師は学習内容を板書し求残場面を言葉や図、式につなげた。 | |
| ICT活用により期待できる効果 ICT活用のねらい | 教科書のさし絵を拡大し、どんな場面かを話し合わせるために活用。同じ画面を見ながら話し合いをさせることで、具体的な場面から数図ブロックへの置き換えを容易にした。 | |
| 評価、振り返り（活動の評判や児童・生徒の声など） | 自作デジタル教科書のさし絵を拡大提示することによって、課題把握が容易になり、問題解決につながった。また、さし絵の場面を数図ブロックに置き換えることで、立式し答えを求めることができた。次の練習問題に取り組む意欲につながった。 さし絵が数図ブロックという具体物に変わり、ノートには○印で標記することができた。操作活動をすることにより、答えを求めることができた。 | |



(問題場면을拡大提示し、板書で話し合いの内容をまとめています)



ぼくは、男の子を青色にして、
女の子を赤色にしました。

(問題をひとり学びでブロックに置き換えています)

1 単元名 ひき算(1)

2 本時の学習の展開案

(1) ねらい 数図ブロックを用いた活動を通して、求部分の場面をひき算の式にかいて、答えを求めることができる。

(2) 配時 3/10時間

(3) 準備 PC1台 数図ブロック(教師用・児童用) 自作デジタル教科書

(4) 学習過程

| 前時の学習 | ひき算の式を知り、ひき算を式にかいて答えを求めることができた。 | |
|--|--|--|
| 学習活動・内容 | ○教師の支援 | ●評価 |
| <p>1 本時学習のめあてをつかむ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題把握 みんなで7人います。男の子は4人です。女の子は何人ですか。 | <p>① 教科書のさし絵を拡大提示し、どんな場面かを話し合わせる。 教</p> <p>○ 数量についての発言を取り上げ、必要な数量をつかませる。</p> | <p>① 教科書のさし絵を拡大提示し、どんな場面かを話し合わせる。 教</p> <p>○ 数量についての発言を取り上げ、必要な数量をつかませる。</p> |
| <p>② のこりは いくつでしょう。</p> | | |
| <p>2 子どもを数図ブロックに置きかえて、7人のうち4人をひく場面を数図ブロックで操作し、答えを求める。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数図ブロックの操作 ○○○○ → ○○○ しき $7 - 4 = 3$ <u>こたえ 3にん</u> | <p>○ 子ども全員の人数を確認し、数図ブロックを用意させる。</p> <p>○ ペア学習で自分の考えを発表したり質問したりして、学び合いの場がもてるようにする。</p> | <p>○ 子ども全員の人数を確認し、数図ブロックを用意させる。</p> <p>○ ペア学習で自分の考えを発表したり質問したりして、学び合いの場がもてるようにする。</p> |
| <p>3 くじ(10本のうちはずれは6本)の場面でも同じように、数図ブロックを操作し、答えを求める。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 数図ブロックの操作 ○○○○○○ → ○○○○ しき $10 - 6 = 4$ <u>こたえ 4ほん</u> | <p>○ 具体物を提示し、どんな場面か知らせる。 教</p> <p>● 数図ブロックを操作する活動を通して、求部分の場面をひき算の式にかいて、答えを求めることができたか。(ノート)</p> | <p>○ 具体物を提示し、どんな場面か知らせる。 教</p> <p>● 数図ブロックを操作する活動を通して、求部分の場面をひき算の式にかいて、答えを求めることができたか。(ノート)</p> |
| <p>4 ひき算の式から答えを求める練習問題をする。(15分)</p> <p>① $3 - 1$, $5 - 4$, $6 - 3$, $10 - 1$</p> <p>② $4 - 3$, $8 - 5$, $7 - 2$, $10 - 3$</p> <p>$8 - 2$, $9 - 6$, $8 - 7$, $10 - 9$</p> | <p>① 練習問題を拡大提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートに問題の式を書き、答えを求めさせる。 答えが見つけれない児童には、数図ブロックを操作させる。 | <p>① 練習問題を拡大提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ノートに問題の式を書き、答えを求めさせる。 答えが見つけれない児童には、数図ブロックを操作させる。 |
| 次時の学習 | ひき算カードを用いて、ひき算の計算について習熟を図る。 | |

(5) 参観の視点

- PCを使った問題提示、具体物を使った問題提示は、課題解決の手助けとして効果的であったか。